

令和2年度

# 栃西中だより

第7号

R3.2.17 発行

文責：小林勇夫



## 学校教育目標

- 進んで学ぶ生徒 (自主)
- 最後までがんばる生徒 (根性)
- 人のためにつくす生徒 (奉仕)

スローガン： やる気 笑顔 感謝

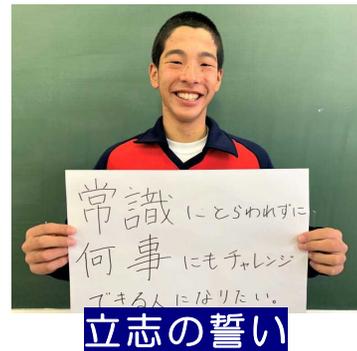
## 〔立志式〕

2月3日(水) 2年生の立志式を西中体育館で挙行了しました。予定していました2泊3日のスキー宿泊学習は、新型コロナウイルス感染症感染予防のため、残念ながら中止としました。



第1部 式典では、厳粛な雰囲気の中、式辞、実行委員長の話があり、生徒達は気持ちを新たにしました。また、栃木市から立志記念のミニアルバムが贈呈されました。

第2部では、一人一人の「立志の誓い」の映像が映し出され、将来の夢を実現するため、これからすべきことについての意思が感じられました。生徒はそれぞれ自分の「立志の誓い」が映し出されると、思いを込めて制作したスクラッチランプに明かりを灯していきました。



やる気  
笑顔  
感謝

生徒達2年生は、立志式をとおして、今までを振り返りながら、家族に対する感謝の気持ちや、友人と協力し合うことの大切さを感じながら、将来への展望と共に自立へと大きく心が成長したと思います。そして、家族への感謝の気持ちを手紙にしたためました。



スクラッチランプづくり



## 〔働く人との交流会〕

2月12日(金) 1年生を対象に、来年度行う職場体験学習の事前学習として実施しました。講師を栃木グランドホテル・アルス幼稚園・ミズノ・タカ食品にお勤めの方々にお願いし、直接お話を聞くことで、仕事に就くことの意義を学びました。



## 〔環境ボランティア〕

生け花ボランティアの方々に玄関や廊下に花を飾っていただきました。とても心が和みます。ありがとうございました。



## 令和2年度 栃木西中学校の教育に関するアンケート結果

各項目4者択一（4:そう思う 3:ややそう思う 2:ややそうは思わない 1:そうは思わない）での評価をお願いしました。  
下表の「保護者」「生徒」欄の数字は、4:そう思う 3:ややそう思う の合計の割合（%）を示しています。

No.	保護者への質問（生徒へは同様の内容で、生徒用の質問としています）	保護者	生徒
1	お子様は、人間としての温かい心や他を思いやる心が育っている。	93.2	94.8
2	お子様は、やってはいけないことをやらない意志の強さが育っている。	93.5	92.5
3	お子様は、学校生活の中で認められたり、誉められたりしたりしている。	88.2	75.2
4	お子様は、基礎的な学力が身に付いている。	68.3	66.7
5	お子様は、「学習のきまり」を守って、授業をうけている。	86.9	89.0
6	お子様は、地域の人たちに感謝し、地域の行事に積極的に参加している。	63.9	54.1
7	お子様は、授業での学習が、できた・わかった・楽しいと感じている。	70.1	79.5
8	お子様は、家庭学習の習慣が身に付いている。	64.6	76.8
9	お子様は、自ら進んで、あいさつがよくできている。	81.4	88.7
10	お子様は、授業中の小グループ活動で、話し合ったり、協力して学習している。	88.7	90.1
11	お子様は、部活動やクラブ等で体を鍛えたり、協調したりする心が育っている。	89.7	84.9
12	お子様は、地震や火災等の災害が起きときに、どうすればよいかわかっている。	83.4	88.7
13	お子様は、学校行事（運動会・西中祭・駅伝大会等）に意欲的に取り組んでいた。	94.1	95.1
14	お子様は、自分の将来の進路を考え、目的をもって生活している。	70.2	78.8
15	お子様は、登下校を基本として、交通ルールを守っている。	97.2	96.2
16	地域の方が、授業で指導することは、生徒の学習意欲の向上につながっている。	84.6	84.9
17	学校は、お子様にとって、元気に楽しく登校できる場所になっている。	90.3	87.8
18	教職員は、お子様に愛情をもって、共感的に接している。	93.2	92.2
19	学校は、学校の様子を学校・学年だより・ホームページ等でわかりやすく伝えている。	91.6	80.7

※ No. 6・7・8・9は、栃木西ブロック小中一貫教育の重点目標です。

今年度は、新型コロナウイルス感染症のため地域行事への参加に大きく影響が出たようです。その他は、生徒の自覚や保護者の皆様のご支援のお陰で、おおむね良い結果となったと考えています。

生徒達は、人間としての温かい心や他を思いやる心、やってはいけないことをやらない意志の強さがあり、学習のきまりや交通ルールを守って楽しい学校生活を送っている様子がうかがえます。特に、学校行事（運動会・西中祭・駅伝大会等）には意欲的に取り組んでいて、保護者の皆様も高い評価でした。コロナ禍で規模の縮小や生徒と教職員のみで開催としましたが、生徒達は、与えられた空間や時間で、精一杯活動して良い思い出をつくったようです。また、栃木中央小・栃木第五小との小中一貫教育推進の重点項目の一つである「あいさつ」も、生徒から進んであいさつする姿が多く見られるようになってきました。

一方で、家庭学習に関しては課題があります。昨年度より若干改善はされていますが、基礎的な学力の向上のためにもしっかりと家庭学習の習慣が大切です。授業では小グループでの学びあい活動による学習内容の理解が進んでいますので、家庭での復習によってより確かな学力が身についていくと思います。

学校運営協議会委員からは、「生徒を大いに褒めて伸ばしてもらいたい」「コロナ禍で、これまで経験したことのない対応を適切に対処している先生方に感謝します」とのご意見をいただきました。

学校では、この結果を真摯に受け止め、小中一貫教育を進めながら次年度の学校経営に生かしてまいります。保護者の皆様、地域の皆様には、これまで同様のご理解・ご協力をお願いします。

アンケートへのご協力ありがとうございました。

